

毎週日曜発行  
2024 9/1

# こども新聞 週刊がほピョンプレス

河北新報社 TEL.022-211-1111(月曜から金曜)



## みんな 子ども だった!?

52

演出家って知ってる？ 演劇や踊りといった舞台を企画し、出演者や裏方さんたちをまとめ、観客にすてきな世界を届ける作品全体の責任者なんだ。東北の演劇界で活躍する演出家の一人、高橋菜穂子さん(47)はどんな子どもだったのかな。

◇ 気が弱くて人見知り。環境の変化に対応するのが苦手でした。小学校に入った当初は登校が嫌で仕方ありませんでした。目立つことが嫌でした。

きょうのテーマ

みんな思い出

みんな動こう

みんな知りたい

みんな守ろう

みんなトモダチ

# 中学校で迷わず演劇部に

やないと気付いたのは、小学6年のころ。学芸会で舞台に立ってからです。

国語の教科書に載っていた「夕鶴」を上演することになり、先生が私

をピアノの伴奏に指名したんです。「どうしても舞台に立ちたい」と泣いて訴え、村人の役をもらいました。せりふは一言だったけど、うれしかったなあ。

仙台で復興支援のチャリ

ファンタジーや冒険ものを中心に本を読むのが好きで、あれこれ空想する子どもでした。学校の生活になじめないときは読書が心の支えになりました。お薦めは「大どろぼうホッツェンプロッツ」(プロイスラー著)です。

大学時代は演劇サークルに入り、卒業後も仙台で役者を続けてきました。でも、「才能がないな」って。観客にどう見られるかを意識し過ぎていたのかもしれない。

演出家として活動するようになったのは、東日本大震災がきっかけの一つです。2011年の夏、仙台で復興支援のチャリ



たかはし・なほこ 1977年生まれ。宮城教育大大学院修士課程修了。小学校教諭を経て2019年から演出家として活動。20年に夫で俳優の渡部ギウウさんと演劇カンパニー「東北えびす」を設立した。仙台市出身。

## 高橋 菜穂子さん(47歳・演出家)

漫画「ガラスの仮面」がブームだったこともあって、中学校に進むと迷わず演劇部に。舞台という架空の世界をつくる作業が大好きでした。

授業はサボるけど部活には必ず来る演技の上手な先輩がいて、憧れましたね。部員は女子だけだったので、よく男性の役を演じていました。



ティーン公演があり、演出をやらなかったと声をかけてもらいました。

役者や音響、照明、舞台美術をキャストイングし、みんなの意見を尊重して作品にまとめる。物語の背景を調べ、自分なりにイメージを膨らませるのも面白い経験でした。さらに観客との一体感も味わえて、自分にぴったりと思えたので



### 今週の注目ニュース

◇1日(日) 日本人大リーガー誕生60年  
1964年のこの日、村上雅則投手が米大リーグ・ジャイアンツでデビューしました。「マッシー」の愛称で親しまれ、65年まで主に中継ぎ投手として活躍。メジャー通算5勝1敗9セーブの成績を収めました。

### きょうの紙面

- 2面 からだ×うんどう×けんこう
- 3面 3分チャレンジ
- 4・5面 わが校わがまち スクール通信
- 6面 くわしく学べる! こども英語
- 7面 投稿特集
- 8面 河北新報ミッドナイトツアー